

神戸市老人福祉施設連盟 第三者評価【基本情報シート】

施設名	特別養護老人ホーム 神港園しあわせの家	定員	100名
設置・運営(法人名)	社会福祉法人 神港園	開設	平成1年7月20日
所在地	〒651-1102 神戸市北区山田町下谷上字中一里山14-1	TEL	078-743-8291
交通アクセス	しあわせの村病院前バス停より徒歩7分 JR三ノ宮より市バス66系統約30分	URL	http://www.shinkouen.or.jp

■法人の事業体制

1 同一法人内での実施事業	
養護老人ホーム(1) 介護老人福祉施設(3) 通所介護施設(5) 短期入所生活介護施設(4) ケアハウス(1) 訪問介護(4) 居宅介護支援事業(4) 地域包括支援センター(4) 有料老人ホーム(1) LSA(2)	
2 介護・看護職員数等(短期入所併設の所は合算した数)	
●介護・看護職員1名に対する入所者	1.97 名
●介護・看護職員平均勤続年数	5.66 年
●介護・看護職員平均年齢	42.5 歳
●人材確保と育成の方針	
人材確保では、法人の人事担当を窓口事業所幹部と連携をとって行なっている。職員の育成では、OJTや採用時の研修、介護や医療等の専門研修を法人や事業所拠点で分担して実施し、法人内での交換研修や人事考課での目標設定等でキャリアアップにつなげている。	
3 施設の方針・理念	
事業目標 グループホーム棟:「認知症になっても認知症をかかえてもしあわせに暮らすための施設」 本館:「ひとりひとりの自分らしさ最後まで大切に」	
4 施設の特徴	
特別養護老人ホームの「認知症専用施設」として、認知症の進行度やコミュニケーション、介護の状況に合わせたグルーピングにより細やかなケアを行うと共に、入居者のなじみの関係(親和性)を生かした生活支援をすすめる。	
5 ボランティア・研修・実習生の受け入れ	
ボランティアでは、グループが4、個人が7名、全体では30名を超えている。織い物や身辺ケア、喫茶や民謡等の行事での参加がある。家族会の喫茶や傾聴のボランティア活動もある。実習では、社会福祉士1校、介護福祉士1校、ホームヘルプ2校の受け入れを行なっている。	
6 地域との連携(施設開放、協同行事等)	
神戸市の総合福祉ゾーン内にある福祉施設として、福祉教育の見学や体験の場、ボランティア等の受入を行なっている。しあわせの村内でのイベントや行事に協力している。	
7 居室形態	
●種類	<input checked="" type="checkbox"/> 従来型 <input checked="" type="checkbox"/> 個室ユニット型
●料金	居住費 750~1,970円(1日) 食費 1,500円(1日)
8 家族との協力(家族会・行事への参加等)	
家族会行事として年間を通じ、お散歩会、日帰り旅行、お食事会、バザー等、施設と家族が協力して入居者の生活支援のため協力しあっている。 施設行事のお花見会、夏祭り、敬老祝賀会、新年会等の行事に家族参加がある。	

■サービス提供体制

入所条件
要介護1以上 手引歩行可能な認知症高齢者
施設内自由度
グループホーム棟は、1Fから3Fまでスロープとエレベーターがあり、フロア内、棟内を自由に行き来できる。本館もエレベーターがあるが、自力移動者はいない。
居室の環境
個室66室、3人部屋6室、4人部屋4室。 個室66室のうち30室は個室にトイレがある。
外出などの自由
単独での外出は制限しているが、家族付き添いや施設行事等での散歩や外出は積極的に取り組んでいる。
身体拘束・虐待防止対策
施設全体及び各部門で研修や意見交換を継続して行ない、意識向上に努めている。
食事
一人ひとりの能力に合わせた食事形態の提供、嗜好にあった食事の提供に心がけている。 一部で選択食や料理クラブの実施を行なっている。
入浴
週2回の入浴を実施し、個々の身体状況に合わせた入浴方法で行なっている
排泄ケア
おむつはずしの取り組みを進めている。 個々の身体状況に合わせて排泄ケアを行なう。
医療体制
常勤医師1名(内科・精神科)、嘱託医師1名(内科)配置 24時間のオンコール体制をとっている。
ターミナルケアの実施
<input checked="" type="checkbox"/> 積極的に行う <input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない 平成25年度では年間13件(退居者数18件)
認知症ケア
認知症高齢者の専用施設であり、認知症から生じるBPSDを軽減するための小グループ生活単位のケア、進行度に合わせたケアを進めている。
アクティビティ
毎月、音楽のつどいや音楽療法、個別の歩行訓練に取り組む。 家族会と合同で、お散歩会や外出行事を行なう。

特別養護老人ホーム 神港園しあわせの家

総合評価

- ◎ 認知症高齢者のための施設として、症状の進行に合わせた居住空間の区分けを行い、入居者間の親和性に配慮したユニットの組み合わせを行っている。これにより入居者の落ち着いた穏やかな生活が確保されていることが入居者の表情からもうかがえた。家族の満足度も高い。
- ◎ 入居者一人一人に作成されている日常生活介護記録表にはケアプランを反映した個々の生活ペースや支援内容が記載されており、きめ細やかな個別ケアにつながっている。
- ◎ 総合福祉ゾーン内にある、同様の課題（日常の危機管理等）を抱える近隣施設との交流、連携の活発化、更なる拡大・強化を今後期待したい。
- ◎ 法人内・施設内あるいは家族会にとどまりがちなケアの情報等の一般市民に向けて発信していく努力を望みたい。

特筆すべき項目・取り組み

- ◎ 家族との関係が深く家族会も活発に活動し、サービス向上のための意見交換など施設側の誠意ある対応を感じることができた。家族アンケートからも「将来利用したい」が 90%を超え、信頼度が高いことがわかる。
- ◎ 職員親睦会での「踊躍クラブ」の活動は「神戸市民福祉振興協会賞」を 4 年連続で受賞している。また、レクリエーションにも施設側が多岐に協力しており、職員のモチベーションを上げる成果となっている。
- ◎ ターミナルケアの実践に積極的に取り組み、実績を積み重ねている。職員全体のケアに対する高いスキルと医療との密な連携によるものと評価できる。

改善が必要な項目・ポイント

- ◎ しあわせの村という特殊な環境のため地域住民との関わりが少ないということであったが、認知症ケア、ターミナルケアなどこれまでの実践で蓄積したデータや高いスキルをより広い「地域」「地域住民」に積極的に発信していくことを期待したい。

外部評価結果に対する施設の見解

この度、当施設が神戸市老人福祉施設連盟第三者評価を受審し、訪問調査員から総合的な所見を頂きました。頂きました所見を当施設で検討を行った結果は以下の通りです。

指摘頂きました点への対応のみならず、人材育成、安定した経営、サービスの質の向上をめざし奮闘していくこととします。

施設名 特別養護老人ホーム 神港園しあわせの家 記入者 施設長

当施設の見解

認知症高齢者の専用の特養であることやしあわせの村の立地という特殊な地域特性を踏まえたうえで、施設が力を入れている施設と家族が協力し合って入居者のより良い日常生活のために活動する家族会の取り組みや大小の行事への家族招待等について、ご家族からも第三者委員の方からも一定の評価をいただきました。

第三者委員からいただいた地域や地域住民への情報発信については、2か月に一回の在宅家族会や隣接地の西鈴蘭台地域での介護リフレッシュ教室等で間接的に行っていますが、今後、より一層、施設が地域の介護に関する社会資源として求められる情報の発信や施設の解放等を意識していきます。

少数とはいえ、ご家族からいただいた施設への不信感や注文については、一つ一つの項目に真摯に向き合い、より一層信頼していただけるように職員の研修や日々の情報発信に努めていきたいと思っております。